

2018J2 ■順位表■第28節【暫定】

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

(*は 1, #は 2, 消化試合が少ない)

1	松本	56p	+17	42	25	HO	
2	大分	50p	+15	50	35	A●	H●
*	3 町田	50p	+13	47	34	H●	
#	4 福岡	46p	+11	37	26	A●	
*	5 横浜FC	46p	+8	40	32	H●	A●
6	東京V	45p	+10	39	29	A△	
7	大宮	44p	+12	45	33	AO	
*	8 山口	43p	+2	46	44	H△	
*	9 山形	40p	+3	33	30	A●	
*	10 徳島	38p	+3	29	26	H△	
*	11 岡山	38p	+2	28	26	A△	
12	甲府	37p	+9	45	36	H●	AO
13	水戸	36p	+1	33	32	HO	
14	金沢	36p	0	36	36	H●	
15	栃木	35p	-5	28	33	H△	A●
16	千葉	35p	-6	49	55	AO	
17	岐阜	32p	-5	36	41	---	---
18	愛媛	30p	-15	23	38	AO	H●
19	新潟	29p	-14	29	43	HO	
*	20 讃岐	24p	-24	23	47	AO	H●
21	熊本	23p	-20	35	55	AO	
*	22 京都	22p	-17	23	40	A●	H●

次回HomeGame

第31節 vs. 大宮アルディージャ

9/1 (土) 18:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)

年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

Living in Woods

本庄工業株式会社

http://www.honjo-woodream.com/

湯麺 戸塚

店主：戸塚 哲也

瑞穂市穂積 1596-4

11:30~14:00/18:00~21:00(L.O.20:50)

お休み情報 twitter: @Tanmen_Tozuka

☆☆☆各務原店もよろしく!!☆☆☆

today's guest : **□アツソ熊本**

2017 J2 9勝10分23敗 勝ち点37:21位

直近の対決と結果

2018/05/03
J2 - 12節@えがおS
熊本 1-2 岐阜
風間宏矢,宮本航汰 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		ロアツソ熊本	
2018/08/11 J2 - 28節@長良川 岐阜 2-3 京都		2018/08/11 J2 - 28節@えがおS 熊本 3-5 横浜FC	
2018/08/04 J2 - 27節@栃木グ 栃木 4-1 岐阜		2018/08/05 J2 - 27節@えがおS 熊本 0-1 金沢	
2018/07/29 J2 - 26節@長良川 岐阜 0-2 大分		2018/07/29 J2 - 26節@NACK 大宮 2-1 熊本	

●シーズン後半戦、長いトンネルの出口が見えてこないFC岐阜。8/11 (土) 第 28 節・ホーム戦は、最下位・京都を迎えての試合だった。岐阜は前半を1点先制して折り返し、後半にも追加点を奪ったが、その後、京都の選手交代に対応できず、立て続けにカウンターを受けて失点し、同点に追いつかれてしまう。その後、岐阜も選手交代で攻撃を活性化させるが決勝点を奪うに至らず、逆に終了間際に、みたびカウンターで失点して、2-3での悔しい逆転負け、そして今季ワーストの5連敗。試合終了後、スタンドからは選手たちを励ます拍手や声とともに、厳しい叱咤激励も飛んだ。

この敗戦で、FC岐阜はさらに順位を1つ下げ、現在は17位に。下位では、J3降格圏である21位(暫定)・熊本との勝ち点差は9、19位・新潟とは勝ち点差3の距離を維持しているものの、勝ち点を積み上げられていないのだから、上位を見れば、9位(暫定)・山形との勝ち点差は8に、プレーオフ圏内である6位(暫定)・東京Vまでは勝ち点差13にと、拡がっていく一方だ。5連敗しているのだから当然の話ではあるが、5試合で15失点・1試合平均3失点と、毎試合大量失点のサッカーをしていては、勝てるはずもない。また、今年の岐阜県内の酷暑あるいはリカバリー設備やスタッフの不足も影響してか、シーズン後半戦に入って、選手たちに疲労が蓄積していることも深刻な問題といえるだろう。もともと、岐阜のパス主体のサッカーは、パスミスからボールを奪われてカウンターを受けやすいという弱点を有するが、疲労のためパスの精度が落ち、攻守の切り替えも遅れてしまっていることが、毎試合失点を重ねている要因にも思われる。そして、夏の移籍でメンバーが変更していたり、岐阜が研究されたり、あるいは残留争いで死にもぐるいになっているとしても、後半戦6試合で、岐阜より下位のチーム(愛媛、讃岐、栃木、京都)に4敗しているという現状を、チームもクラブも僕らサポーターも、厳しく受け止めないといけないだろう。残されている下位チームとの対戦は新潟と熊本。改めて気持ちをひとつにして、今後の試合を戦い抜いていくことが求められる。さて、今節の対戦相手は、その下位チームであるロアツソ熊本だ。去年は21位に終わったがJ2ライセンスの関係で降格は免れ、今季は渋谷洋樹監督体制でチームの再建に着手。しかし、今季もなかなか結果が出せず、現在は13試合未勝利・3分10敗で21位の成績に沈んでいる。とはいえ、今の岐阜も似たような状況なのだから、油断できるはずもない。

また熊本と岐阜は、共に2008年にJリーグに昇格を決めた「J昇格同期」だが、その通算対戦は岐阜の6勝7分10敗・27得点31失点と負け越し、ホーム戦でも1勝4分5敗・8得点13失点となぜか成績が非常に悪い。ただし、今季前半対戦の5/3(木)第12節・アウェイ戦では、#14 風間宏矢と#31 宮本航汰のゴールで2-1と勝利している。熊本の要注意選手には、現在10得点の#11 皆川佑介と9得点の#9 安柄俊、熊本の得点の半分以上を挙げる大型FW 2トップを挙げなくてはならない。この両選手を防がなくてはならない岐阜DF陣は、#3 竹田忠嗣が累積警告で出場停止なのが不安材料だが、大木監督の選手起用と、その期待に応える活躍を期待したい。また、16年に熊本から岐阜にレンタル移籍していた#14 田中達也は、右サイドから鋭く切り込んで中央にクロスを上げる危険な存在だ。だが、今節はそれを許す訳にはいかない。今年は「西日本豪雨」の影響で、西日本を中心に大きな被害が出ている状況だが、東日本も、そして熊本も復興には道半ばの状況だ。とはいえ、勝利を対戦相手にプレゼントする余裕など今の僕らにはない。そして、試合中のピッチでは一切手を抜かないことこそが、彼らに対するリスペクトのはずだ。FC岐阜に関わる全ての人が、その勝利のために、できることを全力で。僕らサポーターは、最後まで選手たちの背中を、その一歩を押し出す力となるための、拍手や声援を最後まで送りつけよう。時には叱咤しながら、勝利を掴むために戦う選手たちを激励しよう。僕らなら、できるはずだ。(ささたく)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。休:月曜日

投稿募集!!

gidaidohri@gmail.com

【第28節】岐阜2-3京都

●日中は37℃を超える酷暑、試合開始前には低気圧の影響で少し涼しくなったけれど、それでも32.5℃と過酷な状況。J2残留争いで最下位真ただ中の対戦相手・京都は、この夏の移籍で7人もの選手を補強。おおい、そんなにカネ使っちゃって今季の決算大丈夫なの…と思うのは古い岐阜サポの悲しい習性(苦笑)だけれど、J3に降格して予算の大幅削減の道を選ぶぐらいなら…という選択は、J3に降格したクラブの現状を見てれば、十分にアリの選択といえる。そして、獲得した7人中3人がスタメン、3人がベンチにいるという、ほぼ別チームになっている(苦笑)京都に対する岐阜は、シーズン前に大怪我を負った#18石川大地が遂にベンチ入り。そして来季加入内定の#29村田透馬もJ特別指定を受けてベンチに。しかし、攻撃のアクセントをつけてくれる#10ライザは……また怪我かしら？ちょっと心配です。

新戦力を多く投入した京都は、やはり最下位に苦しむチームと言うべきか、まだ戦術がしっかり浸透できていない影響か、試合のペースを掴んで攻めるのは岐阜。そして、左WGに入った#19藪内健人が早い時間帯に先制したものの、岐阜も追加点を奪えるチャンスを決めきれずに前半終了。とはいえ、後半すぐに#30中島賢星が追加点を挙げて2-0…と、ここまでは完全に岐阜のペース。正直、僕も「ここから、どうやって無失点で試合を終わらせるか、が第1の目標だなあ」と考えていた。

ところが、だ。2点リードして気が緩んだとは思いたくないが、またしても岐阜の選手たちの足が止まりだす。そして、京都が交替カードを使い切って次々と投入した(その内2人が新加入)選手に岐阜が対応しきれなかったのか、単純な縦へのボールを#44庄司悦大に抜け出されて、失点。あのさ、前目にいる時の#44庄司は要注意だったのは、キミらが一番よく分かってるんじゃないか……(溜息)。こうなると、格言『2点差は危険なスコア』が岐阜の選手たちの背中にズシリとのし掛かったようになり、さらに動きが悪くなる。ここで、こちらもシンプルなサッカーにして、京都のカウンター狙いを封じる策もあったと思うのだけれど、それでも『パスにこだわる』のが、良くも悪くも今の岐阜。同点に追いつかれたシーンでも、誰もパスを受ける位置にいないから『とりあえずドリブルで縦に突破を図る』選択肢もあったと思うんだけど……(溜息)。その後、先述の#29村田と#18石川を投入して(2人ともJ初出場おめでとう!)攻撃の活性化を図って決勝点を狙うのはいいのだけれど、いかんせん攻撃へのバランスが…京都のPAから3失点目のカウンターを受けた時、岐阜の選手の戻りが目に見えて遅くて、悪夢のような逆転劇を見ることになってしまった。

『自分たちのパスサッカー』というスタイルを貫くことも、必要なかもしれないが、しかし“チョコキ出されると分かっていて、なぜパーにこだわる必要があるのか”という指摘もなくてはならない。今季前半の好調だった時は、縦へのロングボールやドリブル突破と、短いパスとを上手く織り交ぜていたと思う。苦しい状況だけれど、今一度、自分たちを見つめ直し、結果を求めることにこだわってもいい頃だと僕は思う。(ささたく)

●試合終了の笛が鳴った直後はしばし呆然としてしまって、それから「あ～、今季も残留争いか……」と首を振ったりしていた。けれど、挨拶に来た選手を見ていたら「まあ、やるしかないし、やってもらうしかないよなあ」という気持ちに切り替わった。あどけなさの残る透馬くん、驚異的な回復力でデビューを果たした大地、そして顔を覆いっぱなしだった宏矢。彼らを始めとした選手達の顔を見たら「やり直そう!まだ、やれるだろ?」という思いを込めて『誇り胸に』を歌うほかはなかった。

この試合は、ホントにオープンな展開だった。京都はあけっぴろげで、プレスを掛ける素振りもない。今の順位が納得で

きるようなやり方に見えたが、DAZNで見直してみると相当な数のピンチもあった。確かにシュートを含め、ミスの多い試合で、致命的なミスから失点するという最低最悪の展開。ただ、決定機はそれ以上に多かったし、右サイドでは「ホントにアベちゃん?」と思うくらいキレキレの2番が、山岸や三島と絡んで何度となく好機を演出してくれたし、藪内も期待に応えてゴールを決めたし、本当に内容と結果がリンクしなかったのが残念の一言に尽きる。ずいぶん甘い見解だろうか。もちろん、内容はどうであれ、結果を出さなければいけない試合だったことは否めない。最下位相手に2点を先行しながら逆転されての敗戦。しかも、ホーム・長良川で。愛媛戦、讃岐戦での反省が活かされていないと言えるのかもしれない。「ミスをするな。」とは言わない。ミスを恐れてチャレンジしなくなるとは元も子もない。ただ、確実に、100%確実に繋いでいく場面、ボールを、試合の流れを落ち着かせなきゃいけない場面では正確に繋ごう。まだ、1点リードしてただから。焦る必要は微塵もない。まずは、次節の熊本戦。この試合を勝つことに全力を尽くそう。全力で細心に、大胆に。全緑で戦い抜こう!

最後に、どうしても記しておきたい。待ってたよ、大地!ファースト・タッチの、あのループが決まったら、ボクは壊れていたかもしれない。今度は勝利と共に『18番ユニ』を高く掲げたい。その瞬間を楽しみにしています!(ぐん)

●メインスタンドは大木体制になって初めての雰囲気だった。観客席のそこかしこから聞こえてくる罵声。でも、残念ながら「それは理解できます」としか思えなかった。京都の守備は(申し訳ないが)順位に相応しいと思える「枠」(網もないから「ザル」よりひどい)で、特に2点目の賢星のミドルなんか誰も圧力をかけない。正直言って、あそこから負ける絵は描けなかった。その時は。

あれれ、と思ったのは2失点目の直前。攻撃陣の動きが明らかに悪くなって、前半のような躍動的なパスワークが消えた。京都の緩い守備は、岐阜を疲れさせる罠だったのか?これは中盤にテコ入れしないと……と話していたら、パスの出どころがなくなってバックパス、それを狙われて「トンビに油揚げ」みたいにかっさわられて同点に。あれは守備じゃなく攻撃の問題。こうなると、攻撃のタレントは上回る京都に流れが傾くのもやむを得まい。

大木監督は試合後の会見で「悪い癖が出た」と話したらしい。しかし、10試合で1勝1分8敗の惨状を「悪い癖」で片づけさせてくれるほど、J2というリーグは甘くない。(吉田铸造)

【ユース】東海プリンス、再開

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は今年東海プリンスリーグに参戦しています。夏の中断期間に入っていました。来週末から試合が再開されます。現在FC岐阜ユースはリーグの半分9試合を終え2勝0分7敗の勝点6で9位となっており、残留に向けて苦しい順位となっています。8位の藤枝明誠高校とは勝点差3、6位・7位のチームとは勝点差6となっていて、残りが9試合である事を考えると残りの1戦1戦が大事となってきます。

再開1試合目は7月25日(土)に長良川球技メドウにて第10節JFAアカデミー福島U-18(以下JFA福島)との試合が予定されています。キックオフは13時予定です。JFA福島は現在リーグ3位、前半戦では0対2での敗戦していますし、簡単に勝てる相手では有りませんが、勝点を目指して頑張っただけです。この日はトップチームの試合と重なっていませんので、是非観戦に行ってやって下さい。

その次の試合は9月1日(土)に清水で第11節静岡学園高校戦となっています。頑張れよ、応援しているからな!FORZA!FC岐阜ユース!!

※試合会場・時間に変更される場合があります。必ずJFAやチームの公式サイトで確認して下さい。(シュナ)